

タイトル『邪馬台国』、その結論』

出版社 Book Way

著者 星野盛久

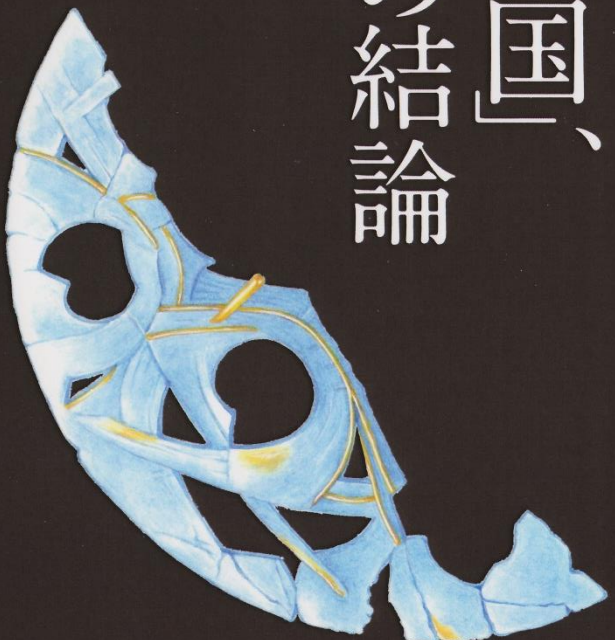
価格 1650円

魏志倭人伝の行程記事はでたらめや錯誤がないとの前提でどう読み解けば実際の地理に整合した行程が見つけれられるかを詳細に検証。倭人伝の距離は行程の道のりを実測したと仮定した場合と主要地点間の直線距離を算出したと仮定した場合にわけ、それぞれのような行程がたどれるか検証。行程を
実測したとの仮定にたてば大分県竹田市の大規模集落遺跡が最も有力であり、直線距離を算出したとの仮定にたてば筑後平野の大規模集落遺跡が最も有望との結論を得た。

当時の司馬懿の立場から倭人伝の数値は10倍になっているとの仮説を立て、筑後平野の川添遺跡群、鳥栖遺跡群、吉野ヶ里遺跡群が最も有望だと考える。

その他邪馬台国関連の諸問題「弥生時代はいつからいつまでか」「高地性集落の変遷から何が言えるか」などの考究を含む。

「邪馬台国」、 その結論



星野 盛久 著